

令和4年度 第2回 江別市かわまちづくり協議会

日 時 : 令和5年3月29日(水) 15:30~
場 所 : 江別市中央公民館 研修室2号・3号

次 第

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 議事
 - (1) 報告事項
 - ア 前回協議会の開催結果 【資料1】
 - イ かわまちづくり勉強会の開催結果 【資料2】
 - (2) 協議事項
 - ウ 堤防及び旧岡田倉庫の整備案について 【資料3】
- 4 その他
- 5 閉会

令和4年度 第1回江別市かわまちづくり協議会 会議録（要点筆記）

日 時：令和4年8月25日（木） 14：00～16：30

場 所：江別市民会館37号室

出席委員：小篠隆生会長、鴻野徹副会長、内田悟委員、柏村章夫委員、林匡宏委員、境珠美委員（計6名）

欠席委員：若狭洸介委員、藤原英大委員

事務局：経済部長、経済部次長、商工労働課長、観光振興課長、総務部契約管財課長、企画政策部政策推進課長、建設部管理課参事、管理課主幹、建築住宅課長、治水課長、治水課主幹、教育部郷土資料館長、江別河川事務所（2名）、北電総合設計㈱（2名）、商工労働課主査（2名）、他2名

傍聴者：1名

会議概要

1. 開会
2. 議事

(1) 前回協議会の開催結果（説明：事務局 半田主査）

(2) かわまちづくり勉強会開催報告（説明：事務局 半田主査）

(3) かわまちづくり計画書について（説明：事務局 半田主査）

(4) かわまちづくりの進め方について（説明：事務局 半田主査）

- ・ 林委員：概略設計、実施設計が進んでいる堤防水辺整備は、どのエリアを想定しているのか。来年度このエリアは入れないといった制約はあるのか。
- ・ 江別河川事務所 濱口計画課長：令和5年度の堤防整備工事については、堤防予定箇所の埋設管を撤去する工事である。堤防整備については、令和6年度以降に着手していく予定である。工事が始まると条丁目地区側でも入れなくなる場所は出てくると思う。
- ・ 小篠会長：社会実験や活動をしたい時に江別河川事務所から事前に情報をもらってすり合わせをするというやり取りが必要になるという理解でよいか。
- ・ 江別河川事務所 大石所長：工事が入る場所や時期を見計らって、情報を交換させてもらいながらやりたいと思っている。
- ・ 小篠会長：かわまちづくりで想定している整備内容に関連する設計が始まるのであれば、そのことについて事前に話をいただきたい。協議会の開催スパンが長いので、勉強会あるいは少人数の関係者で共有し、どういう対応をとればいいのか考えていく必要があると思う。
- ・ 江別河川事務所 濱口計画課長：今年度概略設計を発注していくので、江別市と調整しながら一緒に考えていければいいと思う。一旦話がまとまった段階

でご相談させていただきたい。

- ・ 江別河川事務所 大石所長：実施内容や範囲について常時情報提供しながらの方がスムーズに進むと思う。
- ・ 小篠会長：協議会は勉強会をコントロールする側なので、随時情報をいただきたい。そうでないと、勉強会のテーマやスケジュールが変わってくる状況もあり得る。
- ・ 事務局 川島商工労働課長：協議会で認めてもらえるのであれば、小篠会長、江別河川事務所と江別市で素案を考えながら進めさせていただきたい。
- ・ 小篠会長：土木の場合、概略設計でかなり方向性が決まってしまう。旧岡田倉庫の方も移転先を決定するというだけでなく、実施設計に入ることになる。そういう意味で、今まで自分たちが協議会や勉強会で話してきたことがすぐ設計に反映されていくことになる。一旦設計で決まると進んでいくので、そういう意味ではかなり重要なポイントに来ている。機動的に動かないといけけないので、協議会会長や事務局にらせていただきながら、その都度皆さんに報告しあるいは議論に参加してもらおう仕組みにしたい。
- ・ 林委員：大きな方向性は勉強会でかなり議論してきて出し切ったという思いがある。これからは、本当に具体的に誰が何をやるのかを真剣に考えていく必要がある。詳細については、事務局や協議会会長と詰めさせていただきたい。他の町の事例では、地元の人たちの意見を聞きながらそれを実現できる新しいプレイヤーを呼んでくる、そういう人の知見を聞いてノウハウを学ぶといった外に開いた場を作っている。条丁目地区に色々な外部の企業が営利目的で入ってくるということではなくて、今まで勉強会で議論してきたかわまちづくりの方向性を実現するための具体的な議論をするフェーズにそろそろ来ていると思う。
- ・ 小篠会長：春から夏に行われたかわまちづくり関連の活動での課題を洗い出して、誰が汲み上げていくのか、誰と組んだら突破できるのかというような仕組みに結び付けたいと思っている。
- ・ 境委員：JR 江別駅への条丁目地区の幼稚園の塗り絵展示がきっかけで、幼稚園の先生と話す機会があり、勉強会に是非参加したいとのことだったので、難しいかもしれないが、子どもたち目線の意見を聞くために勉強会に幼稚園の先生のテーブルがあってもいいと思う。
- ・ 小篠会長：お時間が許せば参加していただいた方が雰囲気もわかるし、時間の制約があるのであれば、事前に自分たちの意見を託してもらい、それを勉強会で紹介するという事も可能だと思う。
- ・ 柏村委員：観光協会で行っていることとだいぶ重なる部分があるので、運営を考えていく段階で、他の団体と一緒に協議する場を持って具体的な施策を考

えていく時間があってもいいと思う。

- ・ 小篠会長：まちづくりを推進していくためのパートナーが必要だが、人材は枯渇している。そういった話は少人数の協議会でしてこなかったのが、勉強会でテーブルを囲んで議論・発表していただいた方がより一般の人にも伝わると思う。観光協会でもまちづくりをどう推進していくのかというアイデアを今まで紹介してもらったことがないので、それを勉強会で少し紹介してもらえると大いに参考になると思う。
- ・ 境委員：条丁目地区と観光協会の連携を期待する声も挙がっているが、完全に新陳代謝を失っている街で連携して何かをやるというのは非常に難しい。ただ、少し代謝が上がってきているのを感じているので、小さめのイベントを継続的に実施しながら、切り口を変えて一緒にやっていけたらと思う。
- ・ 小篠会長：点と点になっている人のネットワークやチャンネルを作っていく作業が非常に大事だと思う。いきなり組織は作れないので、普段の会話から何かやるというところまでの一連のプロセスの中で見つけていくことなのだと思う。
- ・ 内田委員：この街が新陳代謝していないというのは、何をやるにしても集まる人が同じだったからだが、境委員が色々なイベントを実施してきたことで、条丁目地区の人たちが覚醒してきているのではないかと思う。そのことを踏まえた上で、地元の人間の普段使いで何ができるのかという提案があればよいと思う。今、条丁目の人間が最も求めているのがコンビニである。これは本当に大きな課題で、高齢者にとっては買い物も難儀で人に頼んで買い物をしないといけない。そういった大きな課題を抱えているので、もしこの事業が上手くいって、多くの人が行き来してコンビニができればいいなと思っている。
- ・ 小篠会長：地域に住んでいる人たちが普段の活動の中で、どんなことができるようになればいいかということも広い意味での観光であると捉えていくことが非常に大事だと思う。
- ・ 鴻野副会長：これまでの議論で課題が出てきていて、今後、変えるという部分では、どう管理・運営していくのかといったところをぐっと押し進めていく必要があると感じる。
- ・ 小篠会長：管理運営方法や組織体制を検討しつつ、何か小さい事をやってみながら、できたことやできなかったことをフィードバックしながらやっていくということで、一年半くらいの時間をかけてやっていかないと無理だと思う。

(5) 対岸側河川空間の利活用について（説明：事務局 半田主査）

- ・ 小篠会長：石狩川合流点付近の整備の概略設計・実施設計については、完全にオフグリッドでいいのか、何か敷設しなければいけないのかという方向性は今年度で決定しておく必要があるということか。

- ・ 江別河川事務所 濱口課長：ある程度の方向性が決定すればありがたい。
- ・ 林委員：リミットがあるならば、その時点でまとめていく必要があると思う。大枠でゾーニングすることは経験上できる。今までの勉強会の議論で、誰がやるのかが見えてこないのが、準備組織づくりがかなり重要になってくると思う。今年度中にやるようなスケジュールになっているが、10人くらい集まって具体的に話ができる場や色々実働で動いている人たちが発言できるような準備会を作ってもよいと思う。そこで気になるのは地元の人たちへの情報発信で、その情報をいかに開いて皆に知ってもらえるかが非常に大事だと思う。
- ・ 内田委員：イベント時の清算等を管理する事務局が必要になってくる。
- ・ 小篠会長：使い方のルールを決めていく必要があって、例えば、利用者にそれなりの料金を払ってもらうようなことができれば、管理する団体の運営費や活動資金になっていくと思う。これは都市・地域再生等利用区域を指定するような話になるのか。料金の支払先は北海道開発局になるのか。
- ・ 江別河川事務所 濱口課長：基本的には江別市が占有主体になるので、江別市がルールを決めることになる。
- ・ 事務局 川島商工労働課長：基本的にはそういう考え方でよい。このエリアで何をどうやりたいかが固まった段階で、何がルールや制度として適切なのかという判断が指定管理も含めて加わることになると思う。
- ・ 小篠会長：市民側で組織を作れるかどうか、観光協会やNPO等色々な方々に参加していただくような形でもよいが、かわまちづくりを運営していく主体がコントロールすることになると思う。勉強会が上手く使えると思う。勉強会に外からの人が参加しやり方を提案していただいて、それを地域の方々からご意見いただくというようなやり方もありだと思う。
- ・ 境委員：10名くらいで具体的な話をする場合に、全員がコーディネーターみたい人だったら、大変だと思う。少しずつ見えてきた条丁目地区の住民の熱い思いがあって、そういう実際に動いている人も考慮してやっていかないとけない。どう声を掛けていくのか、現場の人がコーディネーターとして入りたいかどうかも分からないので、非常に慎重にやっていく必要があると思う。
- ・ 小篠会長：現場にどんな人的資源があるのか、その人たちが些細な事でもいいからやれることがあるのか拾い出して紡いでいく中で実働部隊ができていくということだと思う。それをいきなり勉強会でやってもそうはならないので、下地作りというか、事前検討をするワーキングの小ワーキングみたいなものを作って動かないとダメなのだと思う。それで動かせる案を考えてみたい。
- ・ 林委員：勉強会で、本当にやりたいことを持っている人にアイデアベースではなく発表してもらえればよいと思う。かわまちづくりは、現場で動くアクションの部分と全体のマネージメントをする部分の二層に分けて考えていいと思

う。

- ・ 林代表：勉強会はアクションをする人の集まりなので、その次のステージへ行くのは大賛成である。観光協会のワーキングは、本当に事業としてこれやりたいという人を集めている感じなので、そのような熱量のある場を条丁目地区版として勉強会でやるとワンステージ上がると思う。全体をマネジメントする会議だとこれまでのフェーズと変わらないので、今後指定管理を受ける組織になることを前提にして会議を立ち上げた方がよいと思う。
- ・ 小篠会長：協議会会長に一任させていただき、大まかなスキームを事務局と一緒に考えていきたい。

(6) その他（説明：事務局 川島課長）※旧岡田邸の調査結果についての概要説明

- ・ 小篠会長：旧岡田倉庫だけでなく街並みで考えた時にどういう配置がいいのかを検討した上で移設位置を決定することを設計条件に盛り込んでほしい。
- ・ 境委員：条丁目地区全体を地域遺産という形で残していかないといけない。どう残すか、インフォメーションする役割等も含めて考えていけたらいいと思う。
- ・ 小篠会長：最終的にここはどうなるのか、何を目指しているのかを絶えず発信していかないといけない。完成までどれくらい進んだかというような話もまちづくりの中で運営団体が背負っていかなくてはならない。
- ・ 林委員：移設位置や母屋との接続に関する方向性を協議会で提案し、江別市で意志決定する形になるのか。
- ・ 事務局 川島商工労働課長：協議会で、市民の方が望まれるのはどういうものかを議論・提案していただく形になると思う。最終的にそれをどうするのかは江別市が決定して動かなければならない。
- ・ 林委員：そうすると、市民意見を集める場がまた必要になるが、勉強会である程度時間を取って意見を集めるのか。
- ・ 小篠会長：周辺の建物と一緒に考えて位置を決定するという条件に設計をまず考えてほしい。位置の問題だけで、全部を設計しようと言っている訳ではない。協議会としてそうしないと、まちづくりを進めるということにはならない。移設できる位置に移設してくれればいいという話ではないので、歴史的価値が周辺の街並みにも良い影響を残すような形で移設をしてほしいというのが、その協議会としての考え方である。
- ・ 事務局 川島商工労働課長：移設位置をテーマに協議会を実施するのは支障ないが、スケジュールの問題がある。
- ・ 小篠会長：スケジュールに合うような形で今言ったような内容を盛り込めていければと思う。
- ・ 境委員：駐車場のことが引っかかっている。例えば制約があって、土堤に勝手

に駐車したらダメなのか、よくわからない。

- ・ 境委員：その制約が明確であれば、時間のロスがないと思う。
- ・ 小篠会長：ゼロからやると時間かかるので、駐車場や広場、進入道路を平面図で示してもらい、それを見た上で話をした方がよいと思う。

3. 閉会

以上

江別市かわまちづくり勉強会

江別市



勉強会の実施状況①

No.	開催日時	概要
第1回	日時:令和3年1月19日(火) 18:00~20:00 場所:江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・かわまちづくり協議会と勉強会について ・江別市街築堤の整備について ・かわまちづくり支援制度について ・意見交換
第2回	日時:令和3年3月23日(火) 18:00~20:00 場所:江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・前回勉強会の振り返り ・かわまちづくり先行事例の紹介 ・意見交換をしながらのドローイング ・今後の勉強会の進め方について
<p>※当初予定していた第3回勉強会の代替で、勉強会参加希望者に対する個別ヒアリングを実施。 ※上記の個別ヒアリングとは別に、若年層や女性を対象としたヒアリングを実施。</p>		
第3回	日時:令和3年9月28日(火) 18:00~21:00 場所:ZoomによるWeb開催	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会の位置づけ、今後の進め方について ・前回勉強会及び個別ヒアリングの振り返り ・意見交換をしながらのドローイング ・ハード整備の実施区分について
第4回	日時:令和3年10月18日(月) 18:00~21:00 場所:江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方について ・前回勉強会の振り返り ・ハード整備内容(案)及びソフト施策内容(案) ・かわまちづくりに関するグループワーク

勉強会の実施状況②

No.	開催日時	概要
第5回	日時:令和3年11月16日(火) 18:00~20:30 場所:江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方について ・千歳川や旧岡田邸母屋に関する取組状況 ・ハード整備内容(案)、河川占用の概要 ・前回勉強会の振り返り ・かわまちづくりに関するグループワーク
第6回	日時:令和3年12月21日(火) 18:00~20:30 場所:江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会・支援制度への申請までの流れ ・前回勉強会の議事内容等 ・千歳川の堤防について ・かわまちづくり計画について ・かわまちづくりに関するグループワーク
第7回	日時:令和4年1月26日(水) 18:00~20:30 場所:ZoomによるWeb開催	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会・支援制度への申請までの流れ ・前回勉強会の議事内容等 ・かわまちづくり計画(素案)について ・かわまちづくりに関するグループワーク
第8回	日時:令和4年3月17日(木) 18:00~20:30 場所:ZoomによるWeb開催	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会・支援制度への申請までの流れ ・前回勉強会の議事内容等 ・パブリックコメント調査結果 ・イベント活動報告 ・かわまちづくりに関する意見交換

勉強会の実施状況③

No.	開催日時	概要
第9回	<p>日時:令和4年6月30日(木)</p> <p><第1部:現地視察> 15:00~16:00</p> <p>集合:江別河川防災ステーション2F 会議室</p> <p><第2部:意見交換> 18:00~20:00</p> <p>場所:江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール</p>	<p><第1部:現地視察></p> <ul style="list-style-type: none"> ・江別河川防災ステーション等の説明 ・現地視察(石狩川・千歳川合流点付近等) <p><第2部:意見交換></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回勉強会の振り返り ・かわまちづくり計画の内容説明 ・長期及び今年度のロードマップ(案) ・かわまちづくりに関連する取組状況の報告 ・かわまちづくりに関するグループワーク
第10回	<p>日時:令和4年9月1日(木)</p> <p>18:00~20:30</p> <p>場所:江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・かわまちづくり計画の登録 ・かわまちづくり計画の概要 ・第9回勉強会の議事内容等 ・長期及び今年度のロードマップ ・かわまちづくりに関する意見交換
第11回	<p>日時:令和4年12月8日(水)</p> <p>18:00~20:30</p> <p>場所:江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの意見を踏まえた取組イメージ ・かわまちづくりロードマップ ・かわまちづくりに関する取組み ・旧岡田倉庫の現状と利活用状況 ・旧岡田倉庫周辺の整備・景観イメージ ・かわまちづくりに関する意見交換

勉強会の実施状況④

No.	開催日時	概要
第12回	日時:令和5年2月21日(火) 18:00~20:30 場所:江別市コミュニティセンター3F 研修室	<ul style="list-style-type: none">・かわまちづくりロードマップ・かわまちづくりに関する取組み・かわまちづくりに関する意見交換

第10回勉強会の議事内容等

第10回 江別市かわまちづくり勉強会
日時：令和4年9月1日（木）18:00～20:30

1. 議題

- ・かわまちづくり計画の登録
- ・かわまちづくり計画の概要
- ・第9回勉強会の議事内容等
- ・長期及び今年度のロードマップ

2. かわまちづくりに関する意見交換

- ・今年度実施されたかわまちづくり関連イベントの振り返り
かわまちづくり展示会、ミズベリング江別キャンプ
水辺で乾杯、かわまちフェスタ
「かわまちづくりを運営していく上での課題は？」
- ・対岸側河川空間の整備・利活用イメージ
「対岸側河川空間をどう使う？ どうやってマネジメントする？」



江別市かわまちづくり勉強会 NEWS LETTER

Vol.10
2022.9.28

第10回勉強会 報告：9/1（木）開催

旧岡田倉庫の利活用と条丁目地区のかわまちづくりに関する協議を行うために設立された「江別市かわまちづくり協議会」のワーキンググループとして勉強会を開催しました。

勉強会では、江別市から前回勉強会の振り返り等を行い、その後参加者が車座になって「今年度実施されたかわまちづくり関連イベントの振り返り」「対岸側河川空間の整備・利活用イメージ」という2つのテーマで意見交換を行いました。

今後も色々な方々と議論を重ねながら、条丁目地区を元気にしていきたいと思います。



意見交換の発表内容



●意見交換の概要

4～7月に実施されたかわまちづくり展示会、かわまちフェスタ等のイベントの実施状況を振り返りつつ、大川通地区の整備・利活用イメージに関する活発な意見交換が行われ、今後やるべきこととして「ファンがたくさんいる人の情報共有とプロモーション発信」「学生と街との継続的な連携」「地域の人々がふらっと立ち寄れる場所づくり」「子どもたちが積極的にかわっていきスタイルのイベント」「条丁目地区と色々な人を繋ぐ中核となるような体制の構築」「今住んでいる人が楽しめるような取組みの実施」等の意見が出ました。

江別市かわまちづくり勉強会って何？

千歳川と江別市条丁目地区の歴史や文化、人々のつながりを活かしながら、条丁目地区をより明るく元気するための「かわまちづくり」に関する勉強や意見交換をしています。
条丁目地区の未来と一緒に考えましょう！

次回勉強会は
令和4年●月
開催予定
です！

【事務局】江別市役所商工労働課内

(電話) 011-381-1023 (Eメール) shoko2@city.ebetsu.lg.jp



第10回勉強会での主な意見

【かわまちづくりの目標】			
地域に愛され、観光客等の外部の人間にとっても魅力的な「かわまち」			
— 舟運で栄えた歴史性を活かした新たな“条丁目スタイル”の観光まちづくり —			
	<誰のために>	<どこで>	<何をする>
	条丁目地区の住民 子育て世代 条丁目地区を愛する人 観光客 等	水辺空間 外輪船及び母屋 条丁目地区 周辺地域 等	水辺の利活用 歴史的建造物の活用 周辺地域との連携 歴史文化の発信 等
事業・アクション	全般	全般	ファンがたくさんいる人を招いたイベントの実施
			特定の日に様々な世代の人がふらっと行ける敷居の低いイベントの実施
			大学生等の若年層と連携したイベントの実施
		水辺空間	キャンプの継続的な実施
		外輪船及び母屋	全道の作家のやきもの作品販売
		条丁目地区	倉庫解体時に出たレンガを使った作品作り レンガを使った新年の書道パフォーマンス
	周辺地域	キャンプ利用時の水道トイレ問題や強風に対する対策	
	条丁目地区の住民	水辺空間	船を利用した通勤
	子どもたち	全般	子どもたちが主体的積極的にかかわっていくイベント
			幼稚園と連携したイベントの実施
江別の歴史とレンガを記憶に残していく活動			
水辺空間		遊べる場所の整備 川の楽しさ、怖さの両方を知ることのできる場の整備	
水辺空間、外輪船及び母屋		居場所の整備と一体となった自然活動	
条丁目地区	子どもたちが楽しく伸び伸びできるような環境の整備		
仕組み・マネジメント	全般	全般	様々な施策が街全体に広がり還元されるシステムの構築
			皆が参加できる仕組みとその母体となる受け皿づくり
			女性団体、国、市、学生を中心とした多様な主体の繋がり
	一般へのかわまちづくりの周知		
条丁目地区の住民		住んでいる人が豊かになるような取組みやビジョンの策定	
若い人・商売をやりたい人	条丁目地区	商店街の一階店舗を改装して貸し出すシステムの構築	

第11回 江別市かわまちづくり勉強会

日時：令和4年12月8日（水）18:00～20:30

1. 議題

- ・これまでの意見を踏まえた取組イメージ
- ・かわまちづくりロードマップ
- ・かわまちづくりに関する取組み（北海道情報大藤本ゼミ）
- ・旧岡田倉庫（外輪船）の現状と利活用状況
- ・旧岡田倉庫（外輪船）周辺の整備・景観イメージ

2. かわまちづくりに関する意見交換

- ・旧岡田倉庫（外輪船）や周辺の整備・利活用方法
「旧岡田倉庫等の整備・利活用の具体化と運営体制
・・・どう使う？どうやってマネジメントする？」
- ・かわまちづくりでやってみたいこと
「前回の勉強会を踏まえ、かわまちづくりでやってみたい
こと・・・どうやる？どうやってマネジメントする？」



江別市かわまちづくり勉強会

NEWS LETTER

Vol.11

2022.12.22

第11回勉強会 報告：12/8（木）開催

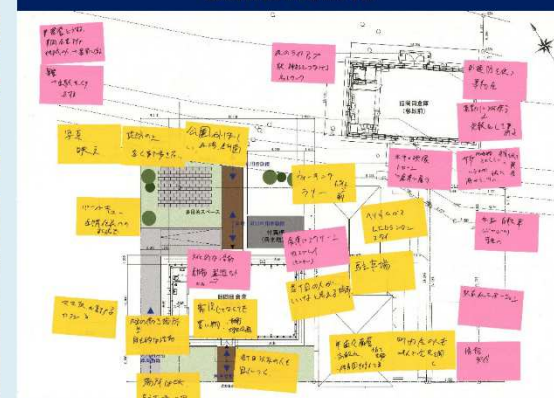
旧岡田倉庫の利活用と条丁目地区のかわまちづくりに関する協議を行うために設立された「江別市かわまちづくり協議会」のワーキンググループとして勉強会を開催しました。

勉強会では、江別市から前回勉強会の振り返り等を行い、その後参加者が2グループに分かれて「旧岡田倉庫（外輪船）や周辺の整備・利活用方法」「かわまちづくりでやってみたいこと」という2つのテーマで意見交換を行いました。

今後も色々な方々と議論を重ねながら、条丁目地区を元気にしていきたいと思います。



意見交換の発表内容



●意見交換の概要

これまでの勉強会で出た旧岡田倉庫（外輪船）利活用に関する主な意見等を振り返りつつ、現在検討中の整備イメージを見ながら、今後の利活用に関する活発な意見交換が行われ、「旧岡田倉庫の前にベンチやテーブルを置いてコーヒーが飲めるといい」「旧岡田倉庫をママ友が集まるようなカフェや、地域の人達が交流できる場所にしていきたい」「JR 江別駅や神社、蕎麦屋書店等と川をしっかりと繋いで、この街全体の価値を上げていくのがとても大事」「地域の人達が勉強会に参加している人たちに旧岡田倉庫の運営に関わってほしい」等の意見が出ました。

江別市かわまちづくり勉強会って何？

千歳川と江別市条丁目地区の歴史や文化、人々のつながりを活かしながら、条丁目地区をより明るく元気づけるための「かわまちづくり」に関する勉強や意見交換をしています。
条丁目地区の未来と一緒に考えましょう！

次回勉強会は
令和5年●月
開催予定
です！

【事務局】江別市役所商工労働課内

(電話) 011-381-1023 (Eメール) shoko2@city.ebetsu.lg.jp

江別市
Ebetsu City

第11回勉強会での主な意見

＜旧岡田倉庫（外輪船）や周辺の整備・利活用方法について

「どう使う？」 「どうやってマネジメントする？」＞

- ・旧岡田倉庫の移転先の前のスペースにベンチやテーブルを置いて、おいしいコーヒーとか飲めるといいかもしれない。
- ・レンガやうだつといった歴史的資源もそこに見えるような形にして、歴史性も踏まえた上で新しいストリートや広場等を作っていくとよい。
- ・大学生が活動できる場所が条丁目地区にはないので、例えば、大学生が企画して、試行的に常設または半常設で市場として使ってみるのもありだと思う。
- ・旧岡田倉庫をママ友が集まるようなカフェや、地域の人達が交流できる場所にしていきたい。

＜かわまちづくりでやってみたいことについて

「どうやる？」 「どうやってマネジメントする？」＞

- ・石狩川合流点の高水敷をキャンプフィールドやグランピングサイトにして、常設のテントやピザ窯も設置して、都市の中でもアウトドアを楽しめるような場所にしたい。
- ・JR江別駅や神社、蔦屋書店等と川をしっかりと繋いで、この街全体の価値を挙げていくのがとても大事だと思う。
- ・千歳川を使った通勤について、通勤手段としての可能性を検証する社会実験ができればよいと思う。
- ・堤防だけでなく、JR江別駅や江別神社等の拠点施設をライトアップして繋げるといった地域の賑わいを見せる取組みも良いと思う。

第12回勉強会の議事内容等

第12回 江別市かわまちづくり勉強会

日時：令和5年2月21日（水）18:00～20:30

1. 議題

- ・かわまちづくりロードマップ
- ・かわまちづくりに関する取組み
(北海道情報大藤本ゼミ、石狩川クルーズ研究会、
エキテラ実行委員会)

2. かわまちづくりに関する意見交換

- ・千歳川河川空間の整備・利活用方法について
(堤防整備案、旧岡田倉庫整備案)



江別市かわまちづくり勉強会 NEWS LETTER

Vol.12
2023.3.15

第12回勉強会 報告：2/21（火）開催

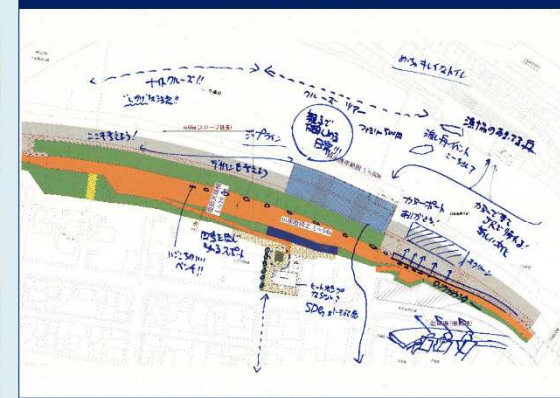
旧岡田倉庫の利活用と条丁目地区のかわまちづくりに関する協議を行うために設立された「江別市かわまちづくり協議会」のワーキンググループとして勉強会を開催しました。

勉強会では、江別市から前回勉強会の振り返り等を行い、その後参加者が2グループに分かれて「千歳川河川空間の整備・利活用方法（堤防整備案・旧岡田倉庫整備案の考え方の確認、整備を実施する際に想定される課題、施設の利活用）」というテーマで意見交換を行いました。

今後も色々な方々と議論を重ねながら、条丁目地区を元気にしていきたいと思えます。



意見交換の発表内容



●かわまちづくりに関する取組み等に関する意見の概要

マインクラフトによる街並み再現やエキテラの取組み報告、信濃川の利用事例紹介があり、「寒い冬だからこそ温かさを感じるイベントになってよかった」「エキテラの成功を嬉しく思う」「条丁目地区を挙げてかわまちづくりを応援したい」等の意見がありました。

また、千歳川河川空間の整備・利活用方法に関する意見交換では、「堤防のベンチひとつとっても大事なコンテンツになってくるので、位置やデザインが重要になってくる」「年間を通しての運営や収益も視野に入れた冬の活用を考えていく必要がある」等の意見が出ました。

江別市かわまちづくり勉強会って何？

千歳川と江別市条丁目地区の歴史や文化、人々のつながりを活かしながら、条丁目地区をより明るく元気するための「かわまちづくり」に関する勉強や意見交換をしています。

条丁目地区の未来を一緒に考えましょう！

次回勉強会は
令和5年●月
開催予定
です！

【事務局】江別市役所商工労働課内

(電話) 011-381-1023 (Eメール) shoko2@city.ebetsu.lg.jp



＜千歳川河川空間の整備・利活用方法について

(堤防整備案、旧岡田倉庫整備案) ＞

- ・旧岡田倉庫の屋内外をいろいろ使いながら、新しいことができるような場所になっていくとよいと思う。
- ・札幌で行われているベロタクシーのように、若者が運転して高齢者が乗って、そこで新しいコミュニケーションが生まれるといったものがあったらよい。
- ・旧岡田倉庫の近くに消防署があるので、車両の出入りについて協議をしていく必要があると思う。
- ・雪対策を設計で詰めていく必要がある。
- ・条丁目地区の四季を感じながら、居心地の良い場所にしていくと良い。
- ・堤防のベンチひとつとっても大事なコンテンツになってくるので、位置やデザインが重要になってくる。
- ・設計図面で示されている堤防の天端幅が確保できれば、自動車の通行やキッチンカーの駐車も可能だと思う。
- ・この場所を誰に使ってほしいのか、子どもなのか、高齢者の方なのか、ターゲットをどうするかとか、もう少し考えていく必要がある。
- ・カヌーが近づきやすい整備をしてもらえるとよいと思う。
- ・冬はどのように活用するのか、年間を通しての運営や収益も視野に入れて今後考えていく必要がある。

①バーチャル空間における江別の街並み再現プロジェクト (北海道情報大学 藤本ゼミ)



1

第12回 かわまち勉強会 発表資料

【**Minecraft**による街並み再現】

2023年2月21日(火)

北海道情報大学 経営情報学部
先端経営学科 藤本ゼミナール

2. 条丁目地区の街並み再現

9

▶ 作業内容

- Googleマップとストリートビューをもとに確認
 - ▶ 区画と番地を設定し、主要な建物を中心に再現
 - ✓ 江別市内の道路は、真北に対して33度傾いている
 - ✓ 斜め線が苦手のため、下図を回転させ道路は直交



②河川空間の利活用に関する話題提供 (石狩川クルーズ研究会)



新潟県 新潟市 信濃川ウォーターシャトル 信濃川下流の堤防設備 現地視察の報告

石狩川クルーズ研究会 大河内康広

河川調査部「河川」(1)「風景する様子」(1)新潟県河川調査部「河川」にて撮影 2022/7/25

信濃川ウォーターシャトル 乗り場(朱鷺メッセ)



乗り場への着岸【動画】

③エキテラの実施について（エキテラ実行委員会 境さん他）

4th

エキテラ

in 2023

2/11 SAT 点灯式 16:00-21:00
江別駅前公園(三角公園)

Overarching Heart

ゆるるキャンドルの灯りが
大きな光になって
あなたの心を温める

エキテラとは
アイスキャンドルで江別駅前を照らすエキテラ。「条丁目を明るくしたい」ひとりの市民の想いから始まりました。4回目の開催となる今年は、大きなハートを描いてみなさまをお待ちしております。

条丁目の魅力を楽しみながら巡るなごとき、子どもたちの遊び場、写真スポット。ひとりでふらり、家族でのんびり、恋人とゆっくり、全員主役で創り出す優しいひととき。こんな時代だからこそ、みなさんと温かい冬の夜を過ごしませんか。

問い合わせ先
エキテラ実行委員会 担当：境 090-9967-1971

主催：エキテラ実行委員会
共催：えべつ11会
協力：ミスベリタスえべつ、江別河川事務所、一般社団法人えべつ観光協会、江別環境整備事業協同組合、江別市商工会議所、JR江別駅、江別市コミュニティセンター、江別神社、積善女子高等学校、真願寺、ジモタタ、江別地域おこし協力隊、NPO法人とれいす、シン・エベツ(前不同)

後援：江別市

イベントページ MAPは裏面へ

QRコード

Photo by Chigu / Design by Keita Okuhira

エキテラMAP

真願寺
キャンドルタワー
お寺にキャンドルタワーが出現！「なごときをクリアすると...?」

江別小学校跡地
スカイランタンをあげよう！
詳細用意しております。現場にあなたの願いをこめて夜空を彩りましょう。

三角公園
メイン会場
16時より点灯式を行います。大きなハートのフォトスポットも。

江別神社

江別駅

キッチンカー

コミュニティセンター

①スカイランタン受付
なごときスタート地点
甘酒のふるまい
インフォメーション、休憩所、林酒店の送迎と江別神社の御神水で温もりいっぱい甘酒をふるまいます。さらに駐車場にはキッチンカーも！

江別かわまち
河川敷のあそび場
楽しい夜をすべり！
みんなの楽しい遊び場！
雪の坂道や雪のスクリーンが
ご家族で楽しいひとときを。

タイムテーブル

16:00 点灯式(駅前三角公園)

なごとき受付開始
キッチンカー
ホットワイン・ココア
(コミセン駐車場)

16:30 スカイランタン受付開始
(コミセン駐車場)

18:40 スカイランタン打ち上げ
(江別小学校跡地)

20:30 なごとき最終受付

21:00 イベント終了

Food truck dazzlingさんも来ます！

なごとき
条丁目の灯りクエスト

参加方法

①コミュニティセンター駐車場の受付で
なごときスタンプラリーカードをGET!

②スタンプを集めながらなごときに出発!

③ゴールできれば特別に...!?
(子どもたちにはお菓子のプレゼントも)

詳細

16:00 受付開始
20:30 最終受付
・30分ほどでクリアできる内容です。
・お団子の際は各スポットにいるなごときスタッフまで

④エキテラの実施について（堤防模型の制作）

川 かわたび
ほっかいどう

小学生以下
先着 50名様限定
ピカピカ光る玉入り
バレーシンプレゼント!
16:00より

エキテラ
× **江別かわまち**

日時 **2月11日(土)** イベント会場 **13:00~20:00**
(ライトアップ時間 3:18:00~20:00)

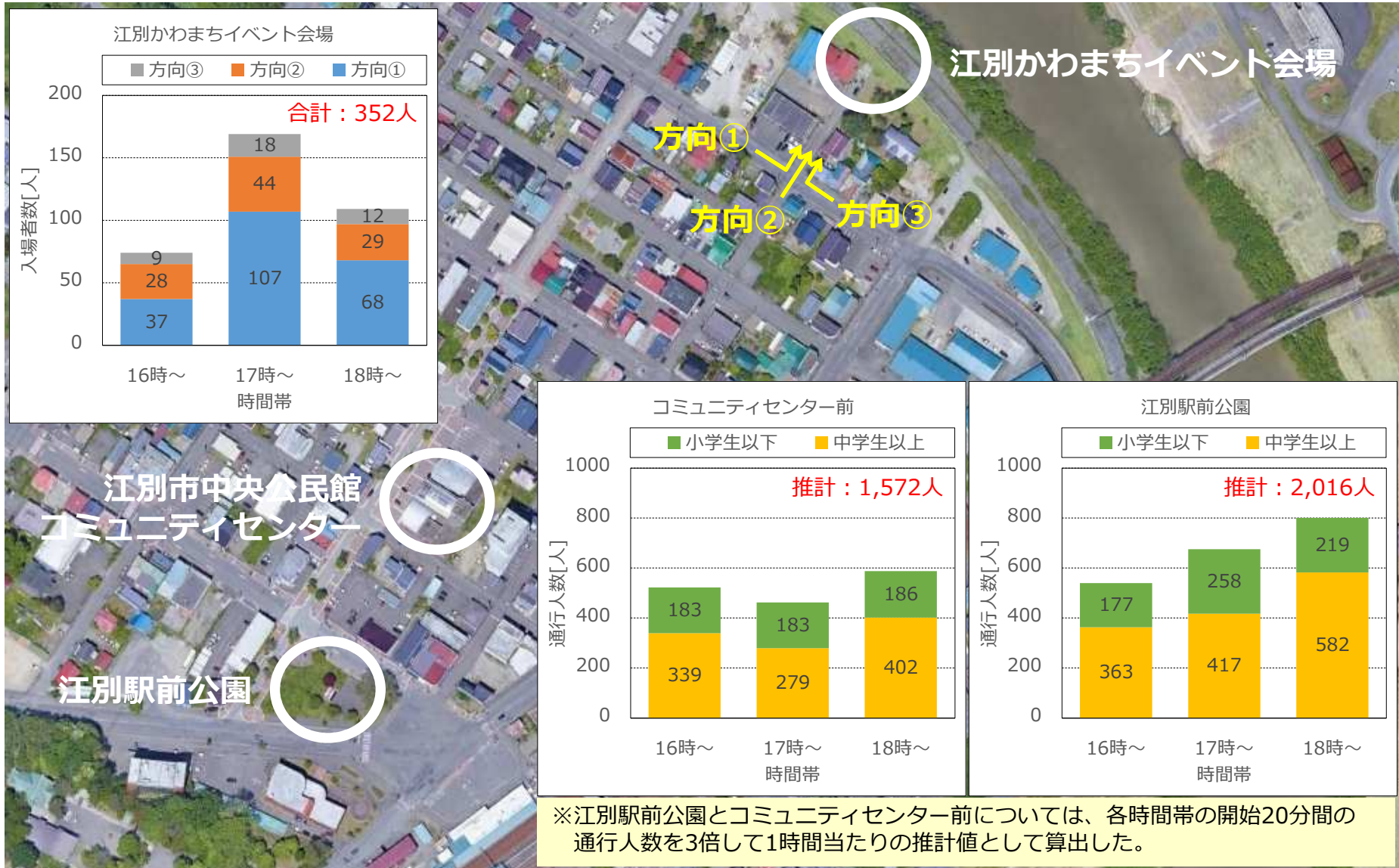
会場

小学生以下限定
イベント
雪中PKで
景品GET
13:00~16:00開催

会場には
撮影スポットと雪で作った堤防斜面があります。
主催：江別河川事務所 共催：ミスベリング江別・江別市・情報大学藤本ゼミ



⑤エキテラ・江別かわまちイベント会場来場者数について



堤防及び旧岡田倉庫の整備案について

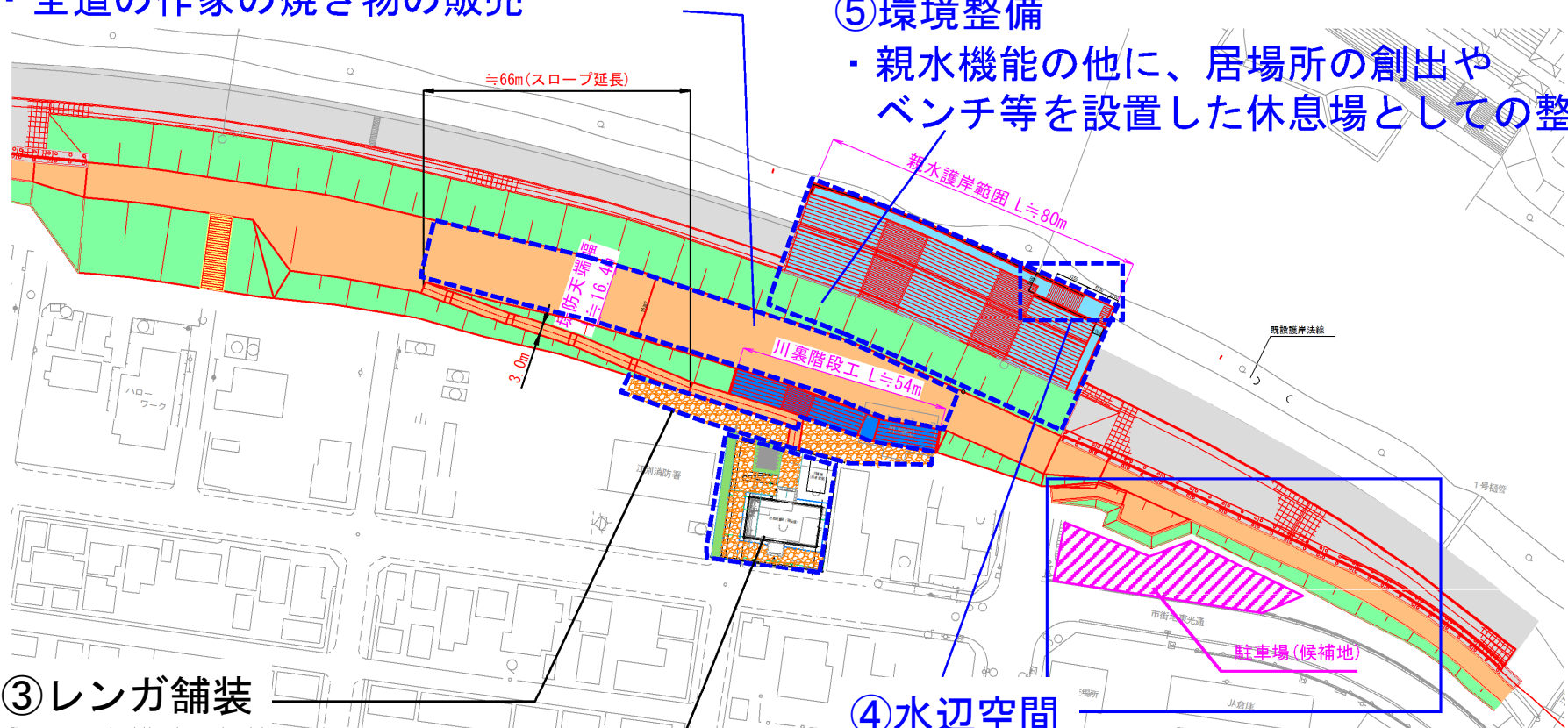
千歳川左岸堤防の整備イメージ

① イベント広場

- ・ 様々なイベントを実施できる空間の創出
- ・ 周辺住民の他、様々な世代の人がふらっと訪れることができる場
- ・ 全道の作家の焼き物の販売

⑤ 環境整備

- ・ 親水機能の他に、居場所の創出やベンチ等を設置した休息場としての整備



③ レンガ舗装

- ・ 地域性を持った素材を利用
- ・ 江別の歴史を記憶に残していく

② 外輪船及び母屋

- ・ 歴史的建造物の保全、活用

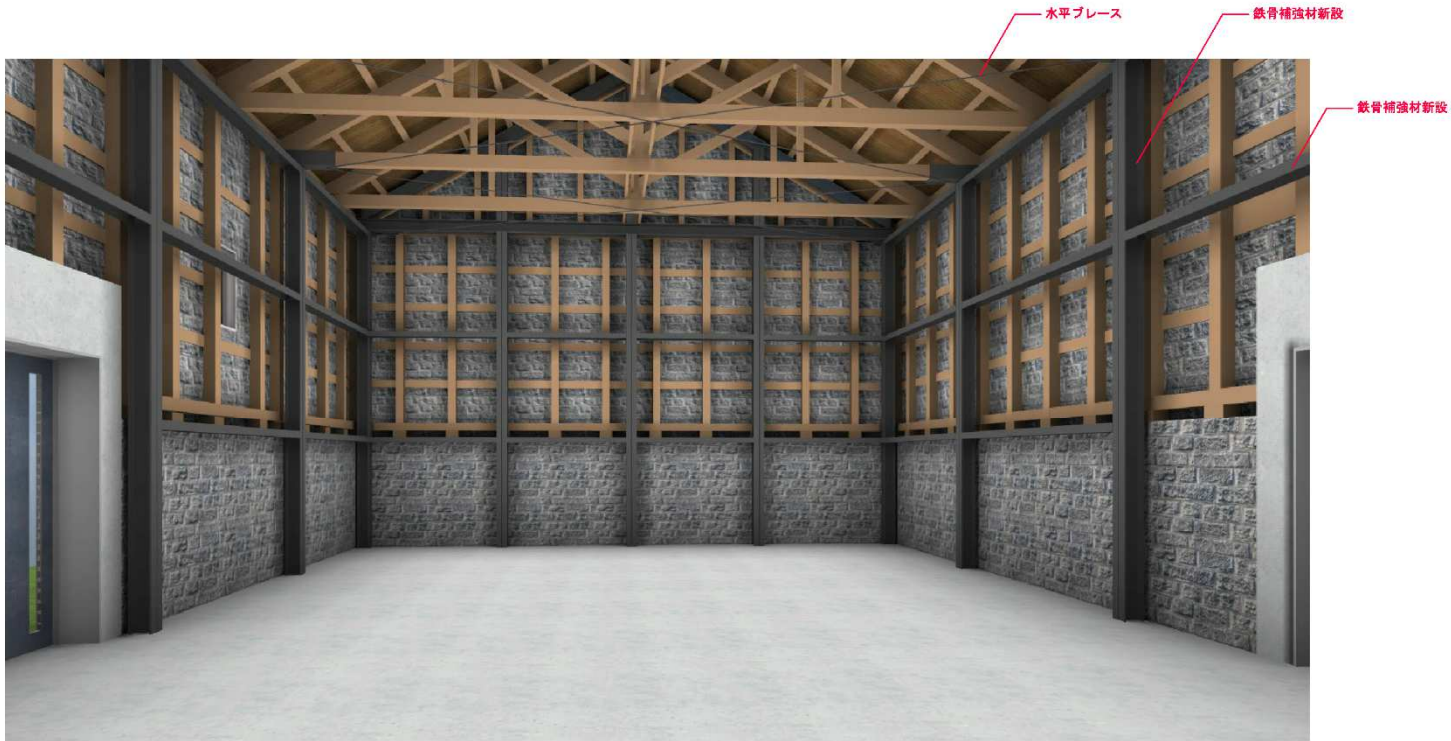
④ 水辺空間

- ・ カヌーポートの設置
- ・ 船を利用し対岸側への移動、通勤
- ・ 子供たちが川の楽しさ、こわさを学べる場の整備



旧岡田倉庫（外輪船）周辺の鳥瞰

旧岡田倉庫（外輪船）の内観イメージ



復元内観イメージ



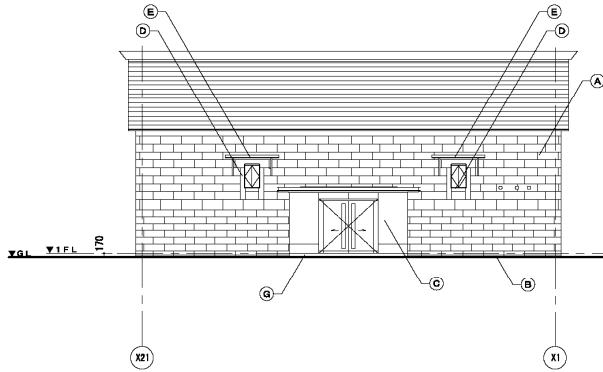
現況内観写真1



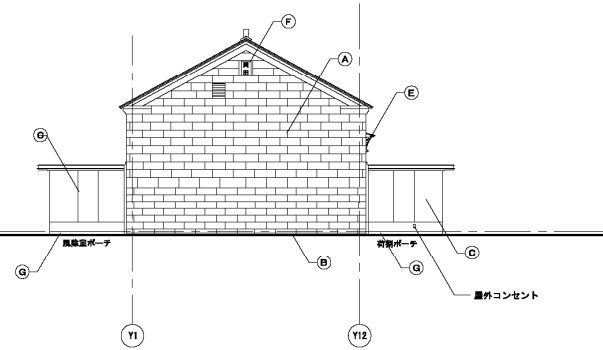
現況内観写真2

旧岡田倉庫（外輪船）の外部整備イメージ①

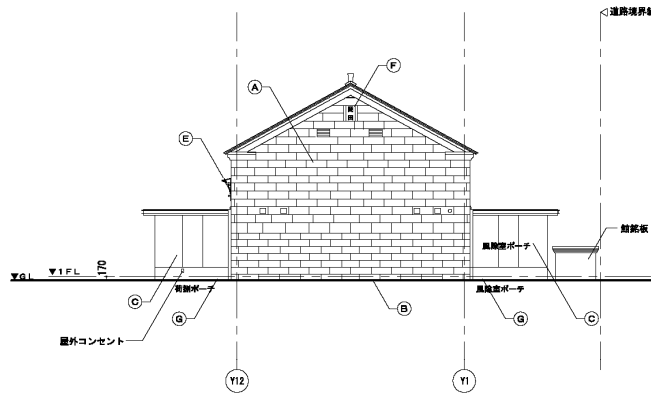
復元



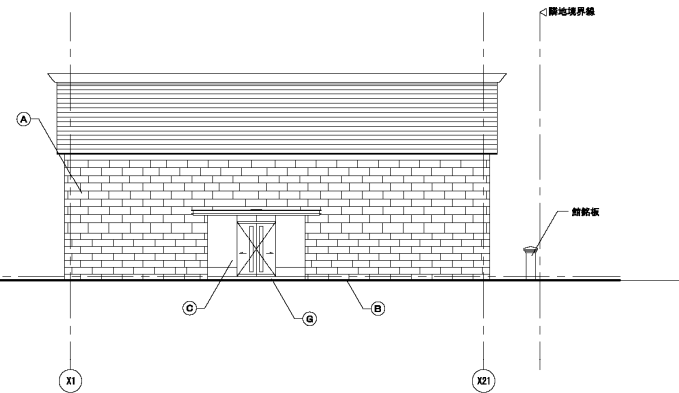
北側立面図 1/100



東側立面図 1/100



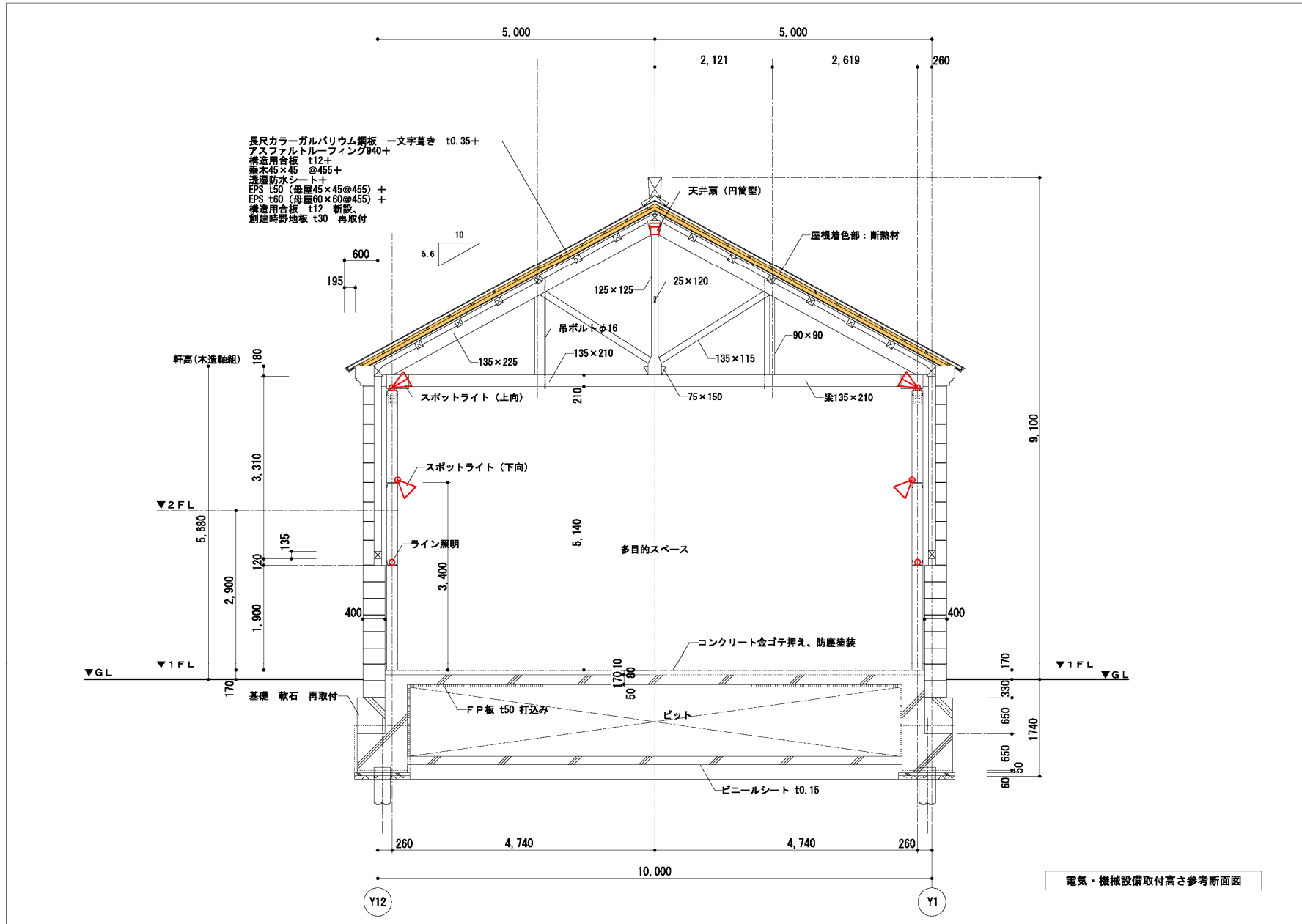
西側立面図 1/100



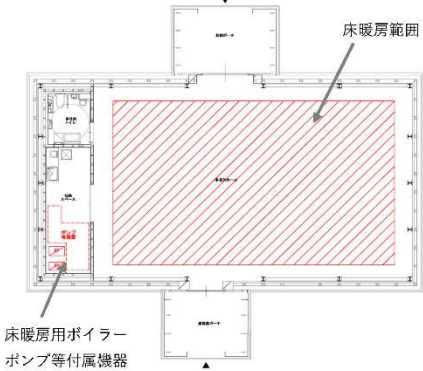



南側立面図 1/100

(A) 外壁 軟石積み（モルタル目地）	(F) 屋根 軟石 420×720		
(B) 基礎 軟石積み（モルタル目地）	(G) コンクリート打放し仕上 撥水塗装		
(C) ガラススクリーン			
(D) 窓枠 軟石			
(E) 化粧紙 鋼板 t2.3 SOP			

- 屋根葺き換内訳
1. 特記なき限り、部材は全て新設する。
 2. 外壁軟石積み及び基礎、窓枠、屋根の軟石は再取付。
 3. 小屋組の野地板、外壁裏の木製軸組は再取付。
 4. 化粧紙は再取付。



旧岡田倉庫（外輪船）の暖房方式

一般名称	A案	B案	備考
暖房方式	FF式ボイラー+床暖房配管 (燃料: 灯油または、ガス)	FF式温風暖房機 (燃料: 灯油または、ガス)	
イメージ図			
機器イメージ 参考事例等			
意匠性	<ul style="list-style-type: none"> 暖房機器は、収納スペースのみに設置となるため、意匠に与える影響は小さい。 燃料が灯油の場合は屋外に灯油タンクが必要。 燃料が都市ガスの場合はタンクは不要 	<ul style="list-style-type: none"> 多目的スペースに暖房機は露出するが、目隠しパネル等を設置することで、意匠に与える影響を低減可能。 燃料が灯油の場合は屋外に灯油タンクが必要。 燃料が都市ガスの場合はタンクは不要 	○
快適性・維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 室温を上昇させるためには長時間の稼働が必要。 (冬期間は24時間稼働を想定。) 床面から暖めるため、上下の温度差は比較的小さい。 軟石による蓄熱効果も期待。 	<ul style="list-style-type: none"> 比較的短時間で室温を上昇させることが可能。 暖房機器の近くでは、送風に伴う気流や機器稼働音が不快感を与える可能性あり。 軟石による蓄熱効果も期待。 	○
イニシャルコスト	<ul style="list-style-type: none"> A案に比べコスト大となる。 (概算工事費: 500万円 灯油・ガス同等) 	<ul style="list-style-type: none"> 検討案中、最もコスト小となる。 (概算工事費: 150万円 灯油・ガス同等) 	◎
ランニングコスト (想定)	<ul style="list-style-type: none"> 建物が断熱されていないため、室温を上昇させるには燃料消費が増大する。(24時間運転、設定温度15°C) (灯油: 270万円/年、都市ガス: 370万円/年) 	<ul style="list-style-type: none"> 壁面が断熱されていないため、室温を上昇させるには燃料消費は大となるが、比較案中では安価。 (12時間/日運転) (灯油: 130万円/年、都市ガス: 190万円/年) 	○
			ランニングコスト算定条件 ・ 暖房期間: 10月~4月

旧岡田倉庫（外輪船）の照明配置計画

一般名称	A案	B案	C案	備考
照明設備	ライン照明（補強梁上面）：12台 スポットライト（上向）：4台 スポットライト（下向）：10台	ベースライト（中央部分）：10台 スポットライト（上向）：4台 スポットライト（下向）：10台 ライン照明（補強柱側面）：48台	ベースライト（中央部分）：10台 スポットライト（上向）：4台 スポットライト（下向）：10台	
器具配置図				
照明点灯時の簡易イメージ				
意匠性	<ul style="list-style-type: none"> 壁面の照明は、全て補強鉄骨に取付ける計画とし、既存部材を傷めない器具配置とする。 ライン照明により壁面を照らし空間を明るい印象にさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 壁面の照明は、全て補強鉄骨に取付ける計画とし、既存部材を傷めない器具配置とする。 中央部のベース照明により全体的に照度を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 壁面の照明は、全て補強鉄骨に取付ける計画とし、既存部材を傷めない器具配置とする。 中央部のベース照明により全体的に照度を確保する。 	○ ○ ○
快適性	<ul style="list-style-type: none"> 平均照度160LX程度となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均照度200LX程度となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均照度200LX程度となる。 	○ ○ ○
イニシャルコスト	<ul style="list-style-type: none"> 比較的安価である。 概算費用（直接工事費）：1,500,000円程度 （材料費：1,200,000円、施工費：300,000円） 	<ul style="list-style-type: none"> 検討案中、最も大となる。 概算費用（直接工事費）：3,050,000円程度 （材料費：2,590,000円、施工費：460,000円） 	<ul style="list-style-type: none"> 比較的安価である。 概算費用（直接工事費）：1,500,000円程度 （材料費：1,200,000円、施工費：300,000円） 	○ △ ○
ランニングコスト（想定）	<ul style="list-style-type: none"> 比較的安価である。 試算では、30,000円/月程度（12時間/日稼働） 	<ul style="list-style-type: none"> 検討案中、最も大となる。 試算では、40,000円/月程度（12時間/日稼働） 	<ul style="list-style-type: none"> 比較的安価である。 試算では、30,000円/月程度（12時間/日稼働） 	○ △ ○

その他

協議会の目的と成果

協議会の目的

- ①江別市街築堤整備（石狩川・千歳川堤防整備）に伴い移設を要する旧岡田倉庫の利活用方法等の検討
- ②旧岡田倉庫周辺の河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取組（かわまちづくり）に関する協議

協議会の成果

- ①勉強会の実施による地元住民が主体的に考える「まちづくり」・シビックプライドの醸成
- ②江別市街築堤・旧岡田倉庫周辺の整備・利活用に関わる地元との合意形成
- ③「江別市かわまちづくり」計画の策定

残された課題

- ①江別市街築堤・旧岡田倉庫周辺の整備・利活用を企画・管理運営する組織体制の構築（ヒト・モノ・カネ・情報をどうするか？）
- ②今後の協議会のあり方（協議会をどうしていくか？どうあるべきか？）

運営体制ワーキンググループの実施

- ①目的：「江別市かわまちづくり」の運営体制及び運営方法の具体的な検討
- ②位置づけ：「江別市かわまちづくり協議会」のワーキンググループ

内容	R4	R5	R6	R7	R8	R9
かわまちづくり協議会・勉強会	整備方針等の決定、管理運営方法・組織体制の検討					
	組織準備・試行運用		組織本格運用			
旧岡田倉庫（外輪船）移設	調査・設計・解体		復元工事	倉庫運営開始		
水辺整備 （千歳川左岸堤防）	設計		整備			
水辺整備 （石狩川合流点高水敷）	設計	整備				
条丁目地区施設整備 （拠点整備、多目的広場、駐車場、街灯・照明、水道・電気施設、周遊コース、案内看板）			設計	整備		

今年度のかわまちづくりロードマップ

	かわまちづくり協議会	かわまちづくり勉強会	その他
6月		第9回（6/30） ・大川通地区の現地視察 ・対岸側河川空間の利活用に関するGW （グループワーク）	かわまちづくり 計画申請
7月			
8月	第7回（8/25） ・計画登録報告 ・かわまちづくりの進め方の確認		かわまちづくり 計画登録
9月		第10回（9/1） ・対岸側河川空間の整備・利活用に関するGW	
10月			水辺整備に関する 検討・設計
11月			第1回旧岡田倉庫 WG（11/2）
12月		第11回（12/8） ・旧岡田倉庫（外輪船）の利活用方法等 に関するGW	
1月			
2月		第12回（2/21） ・河川空間の整備・利活用に関するGW	第2回旧岡田倉庫 WG（1/25）
3月	第8回（3/29） ・かわまちづくりに係る協議経過の報告 ・堤防及び旧岡田倉庫の整備案の確認		

